

八十路を超えても元気に

大学3回生

平成25年10月、「傘寿を祝う会（全国）」を大分市で催し、約30人が出席しました。私たちはこれで同期会にピリオドを打つつもりでした。ところが、その後、全国のあちらこちらから



別府の温泉につかって、ゆつくりと

「もう一度、集まろうじゃないか。旧友にも会いたいしねえ」という声がり、私たち大分市在住の者（宇野、岡崎、坂ノ上、佃）がおみこしを上げることになりました。

年齢もはや84才、85才、堅苦しいホテルより別府のいでゆにゆつくり入り、浴衣がけで盃を交わすのも良いではないか、ということ別府は鉄輪温泉「湯元旅館 かなわ荘」で一泊二日の同期会を持ちました。

14人が集まった日は平成28年11月1日、遠くは調布市、八千代市、西宮市、福岡市、北九州市、佐賀市から馳せ参じてくれました。温泉にゆつくり浸ったあとの宴席（スナック参照）でしたが、恩賀氏（西宮市）だけはフォーマルな恰好、実は氏は私たちのために歌唱の披露をしてく

れたのです。歌ってくれた曲は「マイウエイ」「オーソレミオ」「白鳥の湖より」プロの歌手とのデュエットもしたことがあるだけに、聴く者をして魅了させてくれました。

各地域（関東、関西、福岡、大分）の代表から四極会の活動状況が報告されましたが、病いを抱えている友、すでに逝かれた友の話には心を痛めました。でも、出席者一人一人からの近況報告からは却って元気を貰いました。「また、いつか集まりましたよよ」と言う声が出るくらいでした。

別室での二次会も盛り上がり、翌日は鉄輪の「地獄めぐり」を楽しんだ友人もいました。

皆で校歌、寮歌、逍遙歌を元気に歌いました。

▼出席者（14名 敬称略）

宇野康一（大分市）、大塚信一郎（福岡市）、岡崎尚清（大分市）、恩賀幹雄（西宮市）、糸永啓一郎（別府市）、川浪重昭（北九州市）、坂ノ上光男（大分市）、寺田洋太郎（調布市）、佃哲男（大分市）、高嶋深（佐賀市）、山下尚幸（福岡市）、柳瀬陽之助（別府市）、吉副泰弘（八千代市）

（佃 哲男 記）